

令和 6 年度 三 好 市 立 学 校 評 価 報 告 書

学校名 (三好市立井川中学校)

作成日 令和7年3月29日

校長名 (井上 清隆)

1 総括評価

評 価 分 野	自己評価 (平均値)	自 己 評 価 結 果 の 概 要	学 校 関 係 者 評 価 の 概 要	次 年 度 の 改 善 策
① 学校経営及び学校運営に関する評価	3.4	・超過勤務が80時間を越えることもあり、「業務改善・働き方改革」の課題が顕著に表れた。	・学校だよりやHPで学校の様子がよくわかる。記事の更新に時間がかかっていることがある。	・校務の整理、ICT機器や保護者との連絡ツールの効果的な活用等を通して、教職員の勤務時間の一層の縮減をはかる。
② 教育目標及び教育計画に関する評価	3.4	・「学力コラボ事業」で、鳴門教育大の教授や校区内小学校と共同の研修を重ね、授業の効果的な手法についての研修を深めることができた。	・部活動では、生徒のやる気を活かしていってもらいたい。生徒数が減っているの で、活動も下火になるのはやむを得ない。	・関係諸機関とも連携をはかりながら、「徳島版読解力」の向上を通して、「主体的・対話的で深い学び」の一層の推進をはかる。
③ 主要な教育活動に関する評価	3.6	・校外学習やゲストティーチャーを招いての学習など、多様な学習を通して、生徒の成長につながる学びが見られた。	・今後も、地域の人材等を活かした学習を進めてもらいたい。	・スマートフォンやSNSの適正な使い方について、保護者や関係機関と連携を図りながらその適正化を進め、生徒の健全育成をはかっていく。
④ 保護者や地域との連携等に関する評価	3.2	・学校だよりや学校HPを通して、教育活動の周知に努めた。地域の教育的な資源を活かした活動を今後とも進めていく必要がある。	・PTA戸数の減少、役員のなり手不足など、PTAの活動を、今後とも見直しをしていく必要がある。	・さまざまな教育活動をキャリア教育の視点で捉えるとともに、特別支援、PBSの考え方や手法を使った支援・指導に努め、生徒の自己有用感を高め、自己実現を支援する。
⑤ その他, 上記以外に関する評価()	3.2	・「ナンバーワンスクール」のキャリア教育では、職場体験学習やゲストティーチャーを招いての学習を推進した。	・学校の環境整備が十分でないことがあるので、さまざまな手立てを使うようにするとよいのではないかと。 ・これからも子どもの意欲や可能性を伸ばしていってもらいたい。	・学校からの情報発信に努め、地域との連携を密にし、その「ひと・もの・こと」を活かした教育活動を一層推進していく。

(1) 4段階評価とする。

評価基準 4=達成度が 90～100 %
3=達成度が 70～ 90 %
2=達成度が 50～ 70 %
1=達成度が 50% 未満

(2) 総括評価表の「評価(平均値)」については、「2 分野別評価」の(1)～(5)の評価をそれぞれ平均(小数第1位)したものとす。

(3) 分野別評価の「評価項目」の「その他」については、各学校において必要事項を記入のうえ評価する。

(4) 総括評価の「評価分野-その他」の項目の()には、分野別評価の「(5) その他に関する評価」の中から、特に重要視する事がらを記入する。

(5) 総括評価及び分野別評価の「学校関係者評価の概要」欄は、学校関係者評価委員会(学校運営協議会も可)において評価された結果をまとめたものを記入する。

(6) 「次年度の改善策」の欄は学校評価委員会及び学校関係者評価委員会において協議された改善策をまとめたものを記入する。